

所属名	事務事業名	ページ番号
農村環境課	農業用施設維持補修事業	2
農村環境課	水路浚渫事業	3
農村環境課	広域農道佐賀北部線長寿命化事業	4
農村環境課	農地耕作条件改善事業	5
農村環境課	経営体育成基盤整備事業（法定）	6
農村環境課	経営体育成基盤整備事業	7
農村環境課	農業水路等長寿命化・防災減災事業	8
農村環境課	農村振興総合整備事業	9
農村環境課	農村公園維持管理事業	10
農村環境課	市川活性化施設管理運営経費	11
農村環境課	排水機場維持管理事業	12
農村環境課	多面的機能支払事業	13
農村環境課	横堤保存事業	14
農村環境課	基幹水利施設管理事業	15
農村環境課	基幹水利施設ストックマネジメント事業	16
農村環境課	水利施設管理強化事業	17
農村環境課	地盤沈下対策事業	18
農村環境課	農道整備事業	19
農村環境課	水草除去事業	20
農村環境課	水草対策浚渫事業	21
農村環境課	クレーク防災機能保全対策事業	22
農村環境課	土地改良施設適正化補助事業	23
農村環境課	かんがい排水事業	24

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	農業用施設維持補修事業	<b>事業期間</b>	昭和 40 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 農業土木係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	農家が行う農業施設及び集落水路の簡易的な維持に対する材料支給と、農家が行うには困難な施設（堰・樋管、水路、道路など）の改修工事を請負工事として発注する。 老朽化した農業施設及び集落内水路の維持、機能の回復を目的とする。				
<b>事業の対象者</b>	（2名以上の受益者が利用する樋管・農業用排水路・農道など）農業施設及び農村集落内の水路を利用する農業者				
<b>令和6年度 主な活動実績</b>	原材料支給（コンクリート、木柵、防草シート等） 工事採択件数（水路整備、農道補修等） 樋管・樋門等修繕（開閉機修繕、照明交換等）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	67,081	61,636	52,644	54,673	65,660
うち佐賀市の負担額	67,081	61,636	52,644	54,673	65,660

## 2 成果指標の目標及び実績

<b>成果指標①</b>					<b>単位</b>	
農業振興地域における農用地区域面積					ha	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
12,446	12,443 12,441	12,440 12,437	12,437 12,433	12,434 12,432		
<b>成果指標②</b>					<b>単位</b>	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
①達成している	農振除外の面積が減ったため。

### ↓

### 今後の改善策、対応策等

農業における後継者不足・高齢化など、農業を取り巻く環境は今後も厳しいことが考えられる。本市としては、今後も原材料支給や工事施工により、農業振興地域における農用地区域面積の維持を目指す。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	水路浚渫事業	<b>事業期間</b>	平成 3 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 農村環境整備係、農業土木係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	佐賀市内（市街化区域を除く）において、農業用水路の用排水を円滑にし生産力の増強を図る目的で、各生産組合を単位として実施されている水路の浚渫作業に対し補助を行う。 また、地元での対応が困難な水路に限り、農業用水路の用排水を阻害する堆積土や雑木等の撤去を行い、農村集落の環境向上を図る。
<b>事業の対象者</b>	市街化調整区域において農業用水路の浚渫事業を実施する農業者で組織する団体（農業生産組合）
<b>令和6年度主な活動実績</b>	農業生産組合からの補助金申請に応じて、17件の補助を行った。 また、水路の流水阻害を起こしていた樹木の撤去を行った。

### 決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>事業総額</b>	2,940	3,129	2,845	2,540	2,559
うち佐賀市の負担額	2,940	3,129	2,845	2,540	2,559

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補助件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
17	20	20	20	20	17	
	25	28	25			

成果指標②						単位
撤去等対応件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
5	5	5	5	5	5	
	5	7	5		6	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	この浚渫作業により農村集落地域環境の向上及び農家と非農家による共同作業が実施されている地域もあり、地域の交流に寄与し、集落内の水環境も改善されている。

### 今後の改善策、対応策等

地元での対応が可能な水路浚渫については、地域交流や自立意識向上を図るためにも、補助金を活用した浚渫をお願いする。  
また、高齢化等により地元対応が不可能な水路については、市と地元の役割を調整しながら一体となって事業を進める。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

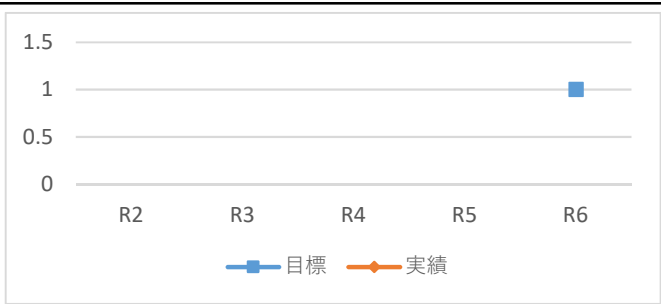
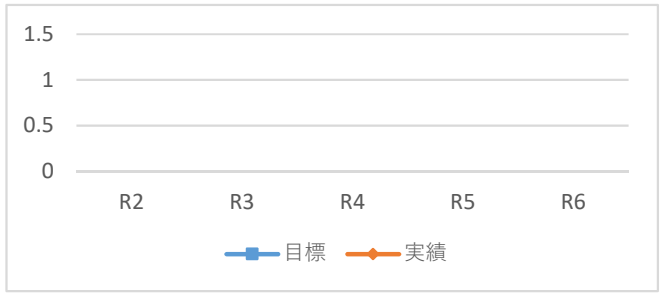
事務事業名	広域農道佐賀北部線長寿命化事業		事業期間	令和 6 ~ 令和 9 年度
担当部署・係名	北部建設事務所 事業係		担当課長名	佐尾 武広
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理		

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	広域農道佐賀北部線における道路構造物（橋梁・トンネル・法面・擁壁等）を計画的に詳細点検および維持管理を行うことにより、維持管理コストの縮減を図り道路利用者に対して安全で円滑な交通を確保するための効率的な維持管理を目的とする。				
事業の対象者	受益地域の住民及び通行者				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域農道佐賀北部線[2工区A070]法面对策測量設計業務委託</li> <li>設計業務 一式</li> <li>測量業務 一式</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額					6,932
うち佐賀市の負担額					3,532

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
対策箇所数					箇所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	1
成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	対策予定箇所について順次調査設計を行い、工事施工の準備を進めている。



今後の改善策、対応策等
法面の危険箇所について、調査設計を行い、危険箇所について対策工事を実施していく。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農地耕作条件改善事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農地中間管理機構による担い手への農地集積を推進するとともに、基盤整備を実施することで、農地の耕作条件を改善し、地域農業の生産性の向上を図る。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
令和6年度 主な活動実績	湧水処理工 L = 6, 1 1 7 m 区画整理工 L = 1 0 a				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	13,296	59,607	143,129	39,069
うち佐賀市の 負担額	0	2,346	8,153	6,936	2,216

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
要望事業費に対する実績						%
R2 目標	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R7 目標	
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	
0	6	18	42	58		
0	3	14	41	48		

年度	目標 (%)	実績 (%)
R3	0	0
R4	6	3
R5	18	14
R6	42	41
R7	58	48

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
	実績	実績	実績	実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	計画のとおり事業を実施している。



今後の改善策、対応策等
事業採択要件である、農地中間管理機構を活用した農地集積を推進する。

# 令和7年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	経営体育成基盤整備事業（法定）	<b>事業期間</b>	平成 24 ～ 令和 18 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 ほ場整備係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	区画整理や経年劣化による暗渠排水、農業用排水施設整備を行い、担い手（大規模農家、集落営農）への利用集積を推進し、効率的、安定的な経営体を育成させ、所得安定対策の推進を図る県営事業 ・鍋島東地区 ・鍋島本村地区 ・高木瀬地区 ・久保田地区 ・東与賀地区				
<b>事業の対象者</b>	事業地区内の受益農家				
<b>根拠法令等</b>	土地改良法				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	99,072	94,329	79,235	92,107	119,127
うち佐賀市の負担額	25,972	30,929	20,035	35,007	47,127

## 2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
事業進捗率（事業費ベースによる進捗）					%	
R2 目標	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績		
34	39	46	51	57		
35	41	47	53	54		
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

## 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

今後も事業進捗率は事業計画の通り実施される見込み。  
 農業生産基盤整備の促進を通じて、水田の大区画化を進めるとともに、農業近代化施設の導入を推進し、効率的かつ安定的な農業経営を推進していく。

令和7年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	経営体育成基盤整備事業		事業期間	平成 27 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係		担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理		

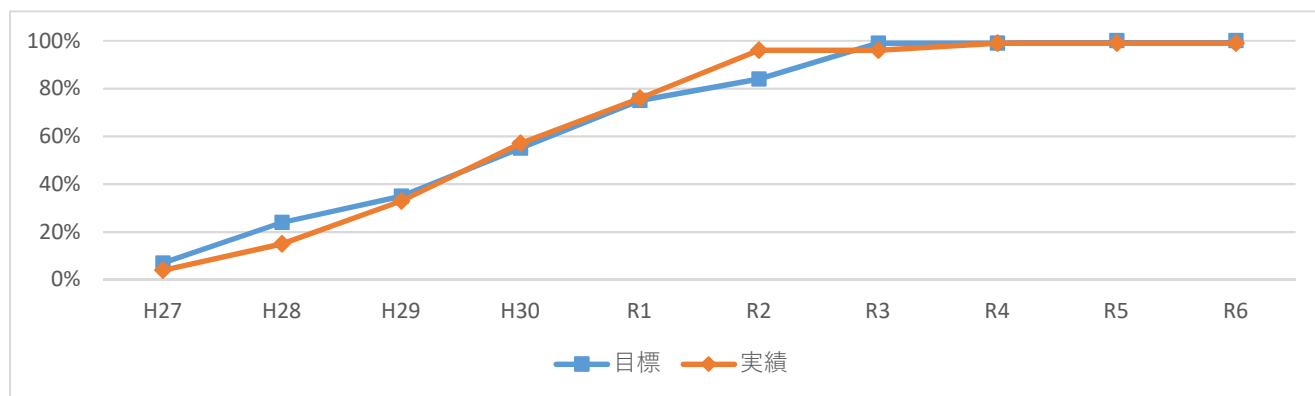
1 公共事業の基本情報

整備概要	高木瀬ほ場整備下流地区（兵庫地区） 水路整備 L=1,690m 農道整備 L=601m 樋門改修 N=1箇所 揚水機場 N=1箇所 ガードレール設置 L=17m 測量設計委託 1件
整備の目的	水田の有効利用の支障となる用水不足の解消、ほ場への通作の安全性確保により、農業の生産性向上を図るとともに、担い手への農地集積を促進する。

事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
工事請負費	54,092	57,328	1,143	4,774	997
測量・監理等委託料	253	1,892		4,609	
用地購入費					
補償費	351	931			
その他事務費等		77			
計	54,696	60,228	1,143	9,383	997
うち佐賀市の負担	29,598	34,384	1,143	9,383	997
区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
工事請負費					255,559
測量・監理等委託料	700	0			34,004
用地購入費					4,314
補償費					2,008
その他事務費等					77
計	700	0			295,962
うち佐賀市の負担	700	0			175,824

2 事業の進捗率

H27	目標	H28	目標	H29	目標	H30	目標	R1	目標	R2	目標	R3	目標	R4	目標	R5	目標	R6	目標
	実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績
	7%		24%		35%		55%		75%		84%		99%		99%		100%		100%
	4%		15%		33%		57%		76%		96%		96%		99%		99%		99%



令和9年度 公共事業進捗報告シート

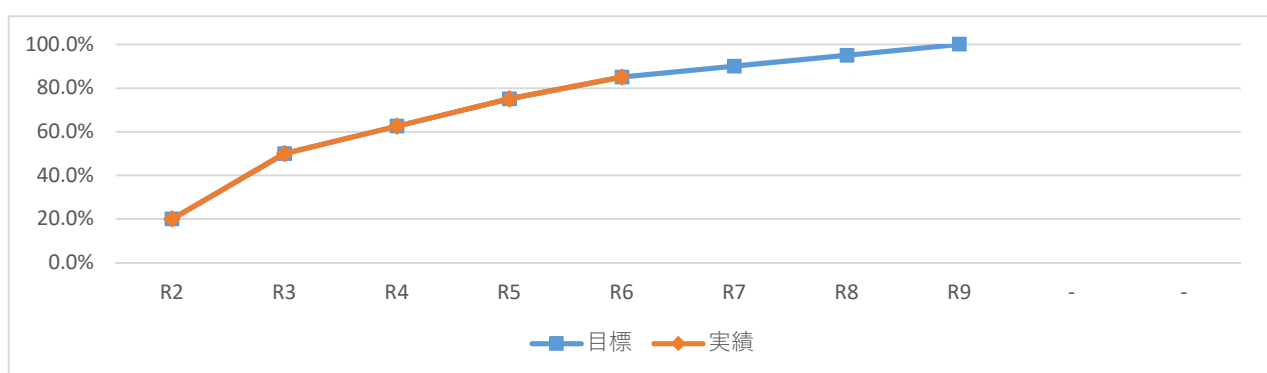
公共事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 9 年度
担当部署・係名	農村環境課 農業土木係	担当課長名	武久 修
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	・ため池の補修や廃止（地元からの要望によるもの） ・防災重点農業用ため池のハザードマップ作成及びハザードマップのQRコードと注意喚起を掲示した看板設置 ・防災重点農業用ため池の劣化診断・豪雨耐性診断・耐震診断				
整備の目的	近年、集中豪雨や地震などによる自然災害でため池の決壊に起因する被災が多発し、住民の被災リスクが高まっている。ため池による災害を未然に防止するために、ため池施設の劣化・豪雨・耐震診断を行い、今後必要な対策を講じていくとともに、農業用水として使用しなくなったため池については廃止工事を行う。 また、自然災害でため池が決壊した場合に想定される浸水の範囲や深さ、避難場所などの情報をまとめたハザードマップを作成し、ホームページや看板を通して市民に周知することで、被害拡大を防ぐ。				
<b>事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
工事請負費		34,217	3,005		
測量・監理等委託料	13,519	16,569	43,093	82,793	89,997
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	75	91			
計	13,594	50,877	46,098	82,793	89,997
うち佐賀市の負担	75	1,452	468	3	
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					37,222
測量・監理等委託料					245,971
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					166
計					283,359
うち佐賀市の負担					1,998

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	R8	目標 実績	R9	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	20.0%	50.0%	62.5%	75.0%	85.0%	90.0%	95.0%	100.0%									
	20.0%	50.0%	62.5%	75.0%	85.0%												



令和7年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	農村振興総合整備事業		事業期間	平成 24 ~ 令和 6 年度	
担当部署・係名	農村環境課 農村環境整備係		担当課長名	武久 修	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	04総合的な農業の振興			
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理			

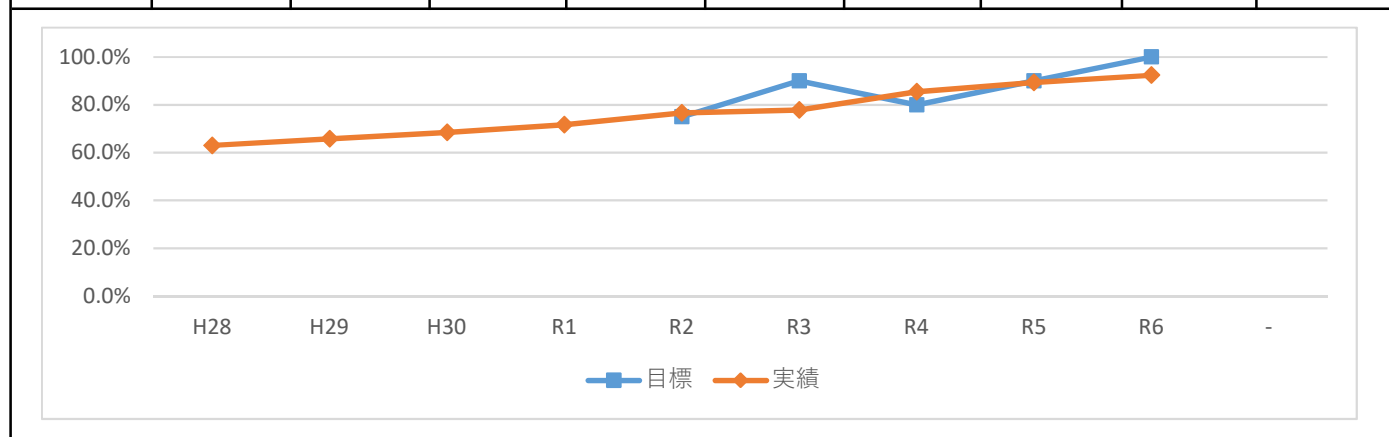
1 公共事業の基本情報

整備概要	農業基盤の整備とその機能の発揮に不可欠な集落基盤の整備を一体的に実施する。 集落道 8 箇所、集落排水施設 4 9 箇所 なお、令和4年度に増額と延伸の変更計画を行った。
整備の目的	集落周辺の地域における農業生産性の向上を図るため、農業集落道及び集落排水施設を整備する。

事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	H24~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
工事請負費	925,046	49,616	49,942	63,526	74,353
測量・監理等委託料	199,861	2,058	6,471	5,356	9,152
用地購入費	16,341				
補償費	58,810			635	4,303
その他事務費等	10,478	2,642	2,700	2,638	2,901
計	1,210,536	54,316	59,113	72,155	90,709
うち佐賀市の負担	499,594	23,043	28,014	23,924	19,562
区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計
工事請負費	193,029	170,738	121,909	44,776	1,692,935
測量・監理等委託料	17,352	22,886	11,295	16,390	290,821
用地購入費					16,341
補償費	152		3,117		67,017
その他事務費等	2,970	2,848	2,821	877	30,875
計	213,503	196,472	139,142	62,043	2,097,989
うち佐賀市の負担	62,199	85,658	66,043	23,537	831,574

2 事業の進捗率

H28	目標	H29	目標	H30	目標	R1	目標	R2	目標	R3	目標	R4	目標	R5	目標	R6	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
63.0%	65.8%	68.5%	71.7%	75.0%	76.6%	77.8%	80.0%	85.4%	89.4%	90.0%	90.0%	92.4%	100.0%				



# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	農村公園維持管理事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 農村環境整備係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	概要：農村振興総合整備事業等により整備した農村公園施設の維持補修 目的：安全で衛生的な管理を行うことで集落内の生活環境の保全及び活性化を図る				
事業の対象者	農村振興総合整備事業等により整備された集落内の世帯				
令和6年度 主な活動実績	遊具点検、修繕、樹木剪定及び除草清掃等の作業委託 ※R6年度実績：遊具修繕1件、トイレ修繕1件、トイレ屋根修繕1件、樹木伐採2件				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,258	3,587	4,287	2,715	1,722
うち佐賀市の負担額	1,258	3,587	4,287	2,715	1,722

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
補修件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	8 7	8 14	8 12	8 5		

成果指標②						単位
公園内の事故件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 0	0 0	0 0	0 0		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	農村公園は老朽化が進んでおり、今後も遊具撤去、樹木伐採、大規模な施設の修繕が必要である。

### 今後の改善策、対応策等

農村公園施設の維持管理は地元自治会によるものであるが、施設の老朽化及び農家人口の減少と高齢化に伴い、地元による維持管理は難しくなりつつある。施設の安全な利用のため、日常的な管理は地元で行い、トイレや四阿は市で適正な管理に努める。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	市川活性化施設管理運営経費	<b>事業期間</b>	平成 19 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 農村環境整備係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	概要：県営中山間地域総合整備事業で整備した市川活性化施設の管理運営 (指定管理者：市川自治会) 目的：地域住民と都市住民との伝統芸能を通じた交流並びに農業の振興、農村の活性化				
<b>事業の対象者</b>	地域住民を中心とする利用者				
<b>令和6年度 主な活動実績</b>	平成29年10月～令和 4年9月 指定管理者 市川自治会 令和4年10月～ 令和 9年 9月 指定管理者 市川自治会 伝統芸能（天衝舞浮立）の練習・見学・交流会、地域農業の各種会議、住民の集会及び各種団体のサークル活動、新たな農産物や農産物加工品の開発・研究、各種研修会、交流会の会場として利用された。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
事業総額	60	60	60	60	60
うち佐賀市の負担額	60	60	60	60	60

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,314	1,000 948	1,000 1,507	1,300 1,730	1,300 1,174		

成果指標②						単位
利用団体数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
88	80 63	80 95	80 121	80 78		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナ等の状況も落ち着き、利用者数も回復傾向にある。 また、定期的な利用により目標は達成できている。

### ↓

### 今後の改善策、対応策等

地区内の利用の推進を図るとともに、地区所有のグラウンドや佐賀市有浮立の里展示館などの他施設も活用しながら、グリーンツーリズム活動、スポーツクラブ等の都市住民等との交流等により、施設の利用拡大を図る。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	排水機場維持管理事業	<b>事業期間</b>	昭和 50 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 土地改良係、農業土木係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	洪水に備え、市内の主要幹線水路の排水を促し、低平地域である南部の集落の排水と農地の湛水被害を防止することを目的として、丸目、得仏（国）、得仏（県）、湾道、川上、川副西部、川副東部、下新ヶ江、西新地、江戸、干拓、福富、久留間（平成30年度から）の各排水機場を運用上、最適な状態になるよう維持管理する。
<b>事業の対象者</b>	市南部の農地及び農集落居住者
<b>令和6年度主な活動実績</b>	丸目排水機場他12排水機場の維持管理（運転、機械・電気点検、修理、オイル交換、燃料補充）

### 決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,980	22,539	25,903	31,976	31,425
うち佐賀市の負担額	17,980	22,539	25,903	31,976	31,425

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
農地湛水被害面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 1,713	0 23	0 1,736	0 0.08		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	排水機場を適切に維持管理を行い、最適な状態で運用をすることができたが、想定以上の降雨により水路の排水能力を超え、湛水被害が起こったと考えられる。

### 今後の改善策、対応策等

引き続き、定期点検等を有効に活用し、排水機場を適切に維持管理することで、低平地域の排水と農地の湛水被害防止に努める。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	多面的機能支払事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有している。近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等に伴い農業・農村の有する多面的機能に支障が生じつつあるため、市は地域団体に支援を行い、地域団体は農業・農村の有する多面的機能を維持することを目的とする。				
事業の対象者	農地等の維持管理者				
令和6年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市は地域団体に対し、交付金を交付した。</li> <li>農地維持活動 活動組織数： 49 補助対象農用地： 816,480a</li> <li>資源向上活動（共同） 活動組織数： 40 補助対象農用地： 789,676a</li> <li>資源向上活動（長寿命化） 活動組織数： 45 補助対象農用地： 798,519a</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	590,512	616,829	637,492	628,655	631,345
うち佐賀市の負担額	145,556	154,208	159,373	157,164	156,984

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
交付金対象農地					a
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
809,904	809,904 819,439	809,904 818,344	809,904 822,928	809,904 816,480	

成果指標②					単位
活動組織への交付額					千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
590,512	668,836 616,829	668,836 637,492	668,836 628,655	668,836 627,930	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	<p>交付対象農地（面積）は、目標を達成している。</p> <p>活動組織への交付額について、国・県からの交付金の交付率が、市の要望に対し86.16%であったことにより、目標値を若干下回ったため、「目標は概ね達成している」とした。</p>

### 今後の改善策、対応策等

交付金は、「維持」・「共同」・「長寿命化」の3種類である。国・県からの交付金の交付率は、「維持」・「共同」が市の要望に対し100%であるのに対し、「長寿命化」は近年70%台である。よって、活動組織に対し交付金を100%交付できるよう、国・県に対し、100%の交付を要求する。

## 令和7年度 事務事業進捗報告シート

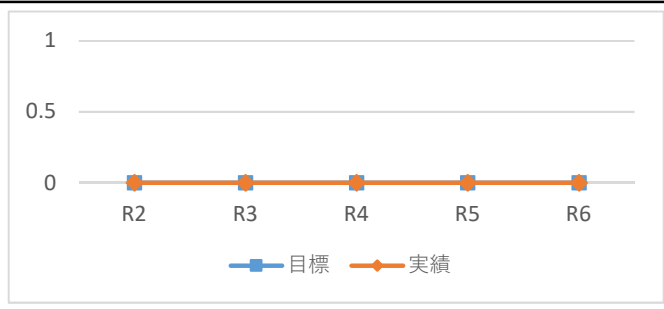
事務事業名	横堤保存事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 ほ場整備係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

### 1 事務事業の基本情報

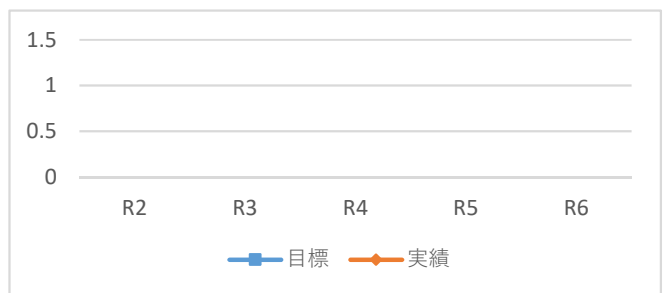
事業概要・目的	横堤は、神崎市との境から巨勢川までの延長1650mにわたる緑地帯。佐賀平野に残された貴重なグリーンベルト、生態系ネットワークの拠点、歴史的遺産として、平成17年より適切な維持管理のため草刈り等の業務委託を行っている。				
事業の対象者	周辺住民				
令和6年度 主な活動実績	【令和6年度実績】 草刈面積A=9,347㎡ 樹木伐採N=3本				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,338	1,365	1,440	1,470	1,568
うち佐賀市の負担額	1,338	1,365	1,440	1,470	1,568

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
横堤内における事故の発生件数						件
R2 目標	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績		
0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
	実績	実績	実績	実績		



### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	横堤内における事故の発生等はないが、隣接する農地や道路、水路の支障となっている樹木の剪定が必要である。

#### 今後の改善策、対応策等

今後も引き続き地元自治会と協力し適切な維持管理を行う。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	基幹水利施設管理事業	<b>事業期間</b>	平成 20 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 土地改良係、農業土木係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	筑後川下流土地改良事業により創設された国営幹線水路徳永線・南里線の維持管理が平成20年度から佐賀市へ移管されることに伴い、市の負担軽減のために補助を受けて行う維持管理事業。 用排水路及び排水機場の管理を適切に行うことにより、農業経営の安定化を図るとともに農家の営農負担軽減を図る。
<b>事業の対象者</b>	受益地域の住民及び農地
<b>令和6年度主な活動実績</b>	徳永線、南里線、城原・金立線の維持管理及び嘉瀬、城西、第2戊申排水機場の維持管理

### 決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>事業総額</b>	35,931	92,313	40,527	37,773	82,716
うち佐賀市の負担額	17,287	34,835	19,573	16,531	37,352

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
農地湛水被害面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 1,713	0 23	0 1,736	0 0.08		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	排水機場を適切に維持管理を行い、最適な状態で運用をすることができたが、想定以上の降雨により水路の排水能力を超え、湛水被害が起こったと考えられる。

### 今後の改善策、対応策等

引き続き、定期点検等を有効に活用し、国営幹線水路や嘉瀬等の排水機場を適切に維持管理することで、農地の湛水防止に努める。

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

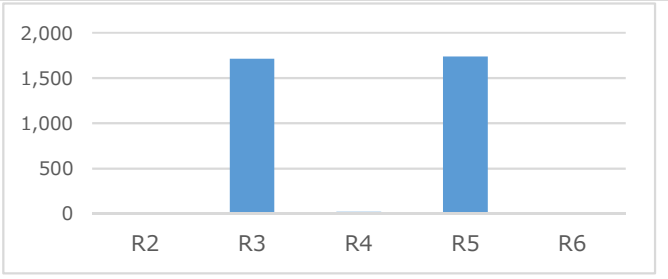
事務事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

### 1 事務事業の基本情報

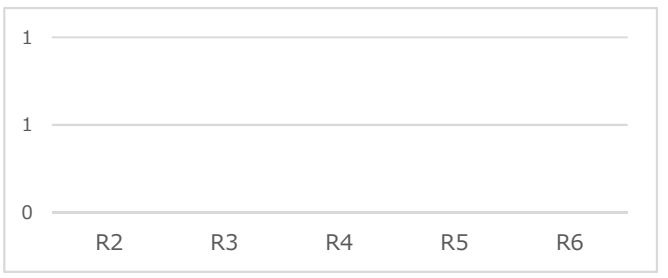
事業概要・目的	農業生産基盤整備の進展に伴い、農業水利施設のストックの増大や、経年変化による老朽化の進行など、今後補修量の増加が懸念されることで、既設施設の有効活用の観点から農業水利施設の長寿命化を図るため、施設の機能診断に基づく、きめ細かな対策工事を実施することでコストの低減や財政負担の平準化を図る。機能診断・保全計画の作成、計画に基づく対策工事を一貫して行う県営整備事業である。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
根拠法令等	土地改良法				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	7,739	41,539	39,965	7,360	53,652
うち佐賀市の負担額	6,139	21,439	20,165	3,860	

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
農地湛水被害面積					ha
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
0	1,713	23	1,736	0.08	



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>機能診断・保全計画の作成、計画に基づく対策工事を一貫して行う県営整備事業であり、県の事業進捗により、負担金の増減が見込まれる。</p> <p>今後も計画に基づく対策により、農業水利施設の適切に維持管理することで、農地の湛水防止に努める。</p>
---

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	水利施設管理強化事業	<b>事業期間</b>	令和 5 ~ 令和 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 土地改良係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要</b>	集中豪雨の頻発化等によって農業水利施設の公的な役割が増大し、施設管理が複雑化・高度化していることから、施設に応じた支援を行い、農業水利施設の有する多面的機能の適正な発揮を確保する。				
<b>事業の対象者</b>	佐賀市／佐賀土地改良区（嘉瀬川地区）・佐賀東部土地改良区（佐賀東部地区）				
<b>根拠法令等</b>	国営造成施設等を管理する土地改良区の多面的機能の発揮及び環境への配慮、安全管理の強化、地域防災、水管理の担い手の育成・確保等に対応した管理体制の整備強化を目的とした補助事業。				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>				38,529	38,317
うち佐賀市の負担額				11,559	11,495

### 2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
佐賀土地改良区交付金対象事業費					千円	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
			34,347	34,347		
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
佐賀東部土地改良区交付金対象事業費					千円	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
			4,182	3,970		

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>国営造成施設管理体制整備促進事業の終了に伴い、引き続き土地改良区の管理体制の整備強化を行うことを目的として創設された補助事業であり、今後土地改良区の施設整備・管理の実施状況に応じて補助額の増減が見込まれる。</p>
--

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

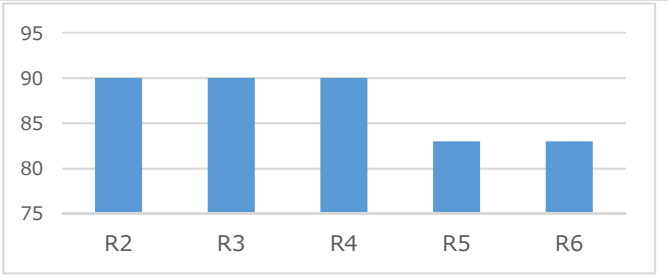
事務事業名	地盤沈下対策事業	事業期間	平成 3 ~ 令和 8 年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

### 1 事務事業の基本情報

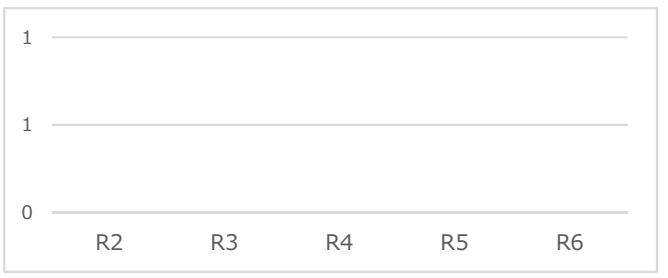
事業概要・目的	佐賀市・小城市の受益面積：9,391ha(うち佐賀市7,363ha)、総事業費176億円 地盤沈下に起因する施設の機能を従前の状態に回復するために必要な用水施設や排水施設の新設や改修等を行い、農業生産性の向上と農村地域の保全を図る。				
事業の対象者	事業地区内の受益農家				
根拠法令等	土地改良法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	10,337	3,445	0	1,766	
うち佐賀市の負担額	1,237	445	0	166	

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
事業進捗率					%
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
90	90	90	83	83	



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>令和5年度の総事業費改定により進捗率も変更されている。令和6年度以降は南川副地区の水路改修工の予定。</p>
---

令和7年度 公共事業進捗報告シート

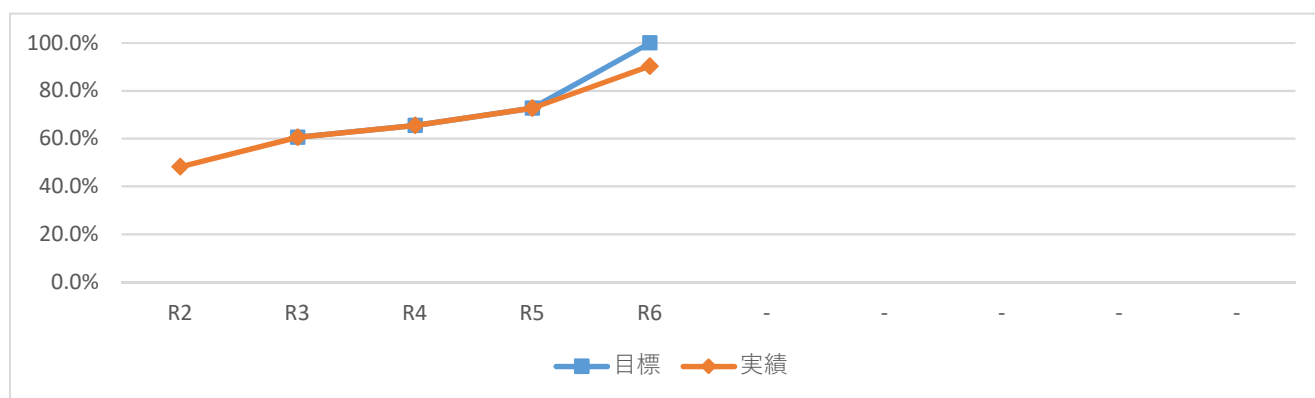
公共事業名	農道整備事業	事業期間	平成 15 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	農村環境課 は場整備係	担当課長名	武久 修
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	農道の舗装、補修及び維持管理。農道舗装延長：235,632m ※長期継続の事業であるが、令和2年度から令和6年度までの進捗で示す				
整備の目的	集落や地域を結ぶ農道において、農産物の集出荷のために整備するとともに、適正な維持管理を行う。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工事請負費	41,321		984		
測量・監理等委託料	19,412	14,753	7,267	8,379	11,362
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	1,633	1,342	1,264	1,057	1,191
計	62,366	16,095	9,515	9,436	12,553
うち佐賀市の負担	30,810	5,295	9,515	9,436	12,553
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					42,305
測量・監理等委託料					61,173
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					6,487
計					109,965
うち佐賀市の負担					67,609

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標	目標	目標	目標	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
48.2%	60.6%	65.5%	72.8%	100.0%					
	60.6%	65.5%	72.8%	90.3%					



# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水草除去事業	事業期間	令和 4 ~
担当部署・係名	農村環境課 農業土木係	担当課長名	武久 修
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	04総合的な農業の振興	
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	水路の管理主体は、集落内およびほ場整備地区外は周辺の住民（農家・非農家）、ほ場整備地区内は土地改良区（農家）と位置付けている。地域活動による水草の早期（発芽時期）除去を定着させ、除去体制を整える。また、大規模に繁茂する特定外来種（ナガエツルノゲイトウ・ブラジルチドメグサ）を除去・防除することによって水路の排水機能低下の防止、揚水ポンプ等の機能低下の防止を図る。				
事業の対象者	基幹的（水路幅が概ね10m以上）農業用排水路で、繁茂が著しい排水路の受益を受ける農家及び有明海沿岸を漁場とする海苔漁業従事者。				
令和6年度 主な活動実績	通常の水草除去に併せ、特定外来種水草（ナガエツルノゲイトウ・ブラジルチドメグサ）除去を行った。 ・農業用排水路水草除去：嘉瀬地区、鍋島地区、本庄地区、川副地区、久保田地区、東与賀地区 ・ナガエツルノゲイトウの除去：嘉瀬地区、鍋島地区、本庄地区 ・ブラジルチドメグサの除去：川副地区、久保田地区				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	35,407	35,270	34,770	35,047	40,111
うち佐賀市の負担額	35,407	35,270	34,770	22,447	29,611

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
湛水被害						億円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 2	0 0	0 0	0 0		

成果指標②						単位
						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	特定外来生物の除去を行うことによって、樋門の詰まり等を抑制でき、湛水被害の防止に貢献できた。

### 今後の改善策、対応策等

引き続き特定外来生物の除去を行うことで、生育区域が拡大しないよう繁茂を抑制し、有明海への水草流出防止や、農地の湛水防止に努める。

# 令和7年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	水草対策浚渫事業	<b>事業期間</b>	令和 3 ~ 令和 6 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 農業土木係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	嘉瀬地区水路内にある特定外来生物の除去、浚渫及び法面整形を行う。 嘉瀬地区水路内に堆積した土砂等を撤去することで、用排水断面の確保など機能保全を図り、湛水被害等を未然に防ぐことを目的とする。
<b>事業の対象者</b>	県営クリーク事業の対象外路線の農業用排水路を利活用する農業者
<b>令和6年度 主な活動実績</b>	嘉瀬地区内の3路線の水路浚渫、特定外来生物の除去工事を発注した。

### 決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>事業総額</b>	-	2,830	44,470	20,562	13,536
うち佐賀市の負担額	-	2,830	44,470	20,562	13,536

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
湛水被害（嘉瀬地区）						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 509	0 0	0 0	0 0		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	509
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	特定外来生物の除去を行うことによって、樋門の詰まり等を抑制でき、湛水被害の防止に貢献できた。

### 今後の改善策、対応策等

引き続き水路浚渫、特定外来生物の除去を行うことで、用排水断面の確保、特定外来生物の生育区域が拡大しないよう抑制し、農地の湛水防止や、有明海への水草流出防止に努める。

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	クレーク防災機能保全対策事業	<b>事業期間</b>	平成 24 ~ 令和 11 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 ほ場整備係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	ほ場整備事業で整備した水路は経年劣化により法面の崩壊や土砂の堆積が発生し排水機能が低下している。クレーク防災機能保全対策事業で浚渫および護岸整備を行うことで、排水機能及び洪水調整機能の回復、強化をおこない、農業生産の向上を図る。				
<b>事業の対象者</b>	事業地区内の受益農家				
<b>根拠法令等</b>	土地改良法				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	79,043	63,021	49,870	35,457	52,545
うち佐賀市の負担額	5,743	4,821	3,170	3,957	3,545

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
事業進捗率（事業費による護岸整備見込み延長）					%
R2 目標	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	
実績	実績	実績	実績	実績	
59	69	70	71	73	
65	68	71	72	74	

年度	目標 (%)	実績 (%)
R2	65	59
R3	68	69
R4	71	70
R5	72	71
R6	74	73

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

今後の事業進捗率は、事業計画の通り実施される見込み。
----------------------------

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

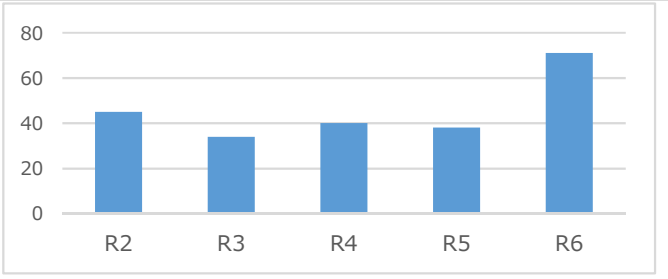
事務事業名	土地改良施設適正化補助事業	事業期間	平成 16 ~	年度
担当部署・係名	農村環境課 土地改良係	担当課長名	武久 修	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	04総合的な農業の振興		
	基本事業	農業基盤の保全と適切な農地管理		

### 1 事務事業の基本情報

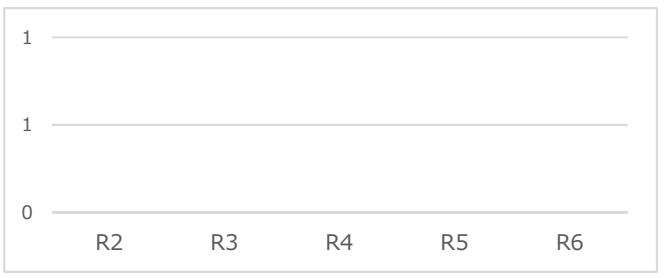
事業概要・目的	ほ場整備事業等で整備された水路等の適正な維持管理を目的に、市内の各土地改良区が実施する水路の浚渫、補修及び樋門の修繕等に対補助することにより、適正な農業用施設の維持管理を図る。				
事業の対象者	各土地改良区が実施する事業の受益者である市内の農家等				
根拠法令等	佐賀市補助金等交付規則、佐賀市土地改良施設維持管理事業補助金交付要綱、佐賀市基盤整備促進事業補助金交付要綱				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	41,251	36,656	34,270	17,801	50,966
うち佐賀市の負担額	41,251	36,656	34,270	17,801	50,966

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
水路等の浚渫、修繕件数					箇所
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
45	34	40	38	71	



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

各土地改良区は事業計画等を策定し、それぞれの所管する水路等について逐次、修繕等を実施している。令和5年度は県補助金の内示が低かったため事業費が少なくなっている。令和6年4月1日に要綱を改正し、用水のみの施設についても補助の対象とし、補助対象施設の拡充を行った。補助対象施設の拡充により、事業費で約18,400千円の増（箇所数で41箇所の増）となっている。今後は令和6年度と同程度の事業費で推移すると思われる。

## 令和7年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	かんがい排水事業	<b>事業期間</b>	平成 24 ~ 令和 10 年度
<b>担当部署・係名</b>	農村環境課 土地改良係	<b>担当課長名</b>	武久 修
<b>総合計画に おける位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	04総合的な農業の振興	
	<b>基本事業</b>	農業基盤の保全と適切な農地管理	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	農業用水の安定供給を目的に佐賀西部高域地区（大和地区）で用排水路工を工事している「県営かんがい排水事業」の市町負担金であり、農業用水の安定確保のため、農業用排水施設の整備を行い、農業の生産性の向上を図ることを目的とする。				
<b>事業の対象者</b>	県営かんがい排水事業の受益者である佐賀西部高域地区（大和地区）の農家等				
<b>根拠法令等</b>	土地改良法				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	13,054	814	6,048	6,216	8,259
うち佐賀市の負担額	6,954	514	3,348	3,516	4,359

### 2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
工事が完了した用排水路工の延長					m	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
497	1,043	387	230	687		
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>県営事業で工事予定の用排水路工は全体で約15,000m。令和6年度末の進捗率は79%である。令和10年度の事業完了に向け、令和8～10年度は事業費の増加が見込まれる。</p>
--